



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



## スローフード世界大会に関する よくある質問

### 1. 世界大会とは何ですか？

**International Congress**（以下、世界大会）は、スローフードの国際規則第7条に詳述してある通り、スローフードの意思決定機関です。世界大会は、Executive Committee（以下、国際理事会）が招集し、大会規約を作成し、その後 International Council（以下、国際評議会）が承認します。大会の機能は2つあります。1つは、協会の方針と国際運動の活動を議論し、定義し、承認すること。もう1つは、組織のガバナンス構造を定義し、役員や会議体を選出することです。

### 2. なぜ2022年に開催されるのですか？

2022年大会は第8回世界大会（初の臨時大会）となり、前回2017年に中国・成都で開催されてから5年後に開催されます。成都では、3年後に活動の検証や役員の改選を行うべく、次回大会を2020年秋に開催することが決定されていましたが、Covid-19の大流行により、2020年と2021年の両方で実現することができなくなりました。2022年2月、国際理事会は、大会をこれ以上動かすことはできないと判断し、必然的に2022年に開催することが決まりました。この選択は、運営上総合的に判断したものでもあり、また、最近施行された非営利団体に関するイタリアの新法にスローフードの構造（および規約）を適合させる必要があったためです。

### 3. 大会はいつ、どこで開催されるのですか？

国際大会は、ポレンツォ（イタリア）の食科学大学キャンパスで開催されます。大会は7月16～17日に開催され、法人格と規約の調整と承認、理事会の選挙、監査役会と仲裁人会の選挙が行われます。

### 4. これまでの他の世界大会と同じような形式ですか？

同じではありません。これまでの世界大会では常に、スローフードのネットワークが存在し活動している地域を代表する、さまざまな活動体（支部、コミュニティ、プレジディオ、菜園プロジェクトなど）の多くの代表者が参加するミーティングが必ず含まれていました。2017年の中国では、世界85カ国から代表者とオブザーバーを合わせて466人が参加しました。2022年にこのような性質のイベントを計画することは、残念ながら不可能です。今年、世界のパンデミック状況がどうなるか、渡航のルールがどうなるかを予測することは不可能です。しかし、世界の国全体（特にワクチンの普及が遅れている国やEUが認めていないワクチンを使っている国）が渡航できなくなる可能性は非常に高い状況です。したがって、従来の方式は不可能です。私たちは、イタリアの代表者だけが参加でき、おそらくヨーロッパの代表者も参加でき、その他少数の代表者も参加でき、私たちの運動の生活の基盤となっている多くの国の代表者を排除するような大会にはしたくありません。



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



## 5. 世界大会をオンラインで開催することは可能ですか？

いいえ。スローフードの規則では、オンラインでの世界大会は認められていません。イタリアでは、パンデミックのために、昨年3月31日まで非常事態が発令されていました。その時は集会をオンラインで開催することが可能でしたが、今現在、非常事態が発令されていないため、状況はパンデミック前と同じです。現在の規約では、オンラインで大会を開催することはできません。

## 6. 今回の世界大会の方式は？

世界大会は必ず2022年に開催されなければならない、オンラインでは開催できず、またスローフード・ネットワークが活動する地域の参加と代表を排除したくないため、可能な限り高いレベルの代表を保証しつつ、代表の数を減らすことが唯一の解決策となりました。

大会は、これまでのように500人の参加者を集めて開催されるのではなく、パンデミックという極めて不確実な状況に合わせて、ネットワークから委任された50人の参加者で構成される大会となります。

## 7. 参加者はどのような人たちですか？

50名の参加者は、世界的な運動を代表するものであるため、現在活動しているメンバー、コミュニティ、プロジェクトの広がりや考慮した基準に従って選出されます。

そのため、国際理事会は、成都で投票された国際評議会の構成につながった地理的（30カ国が代表）、テーマ的（先住民、SFYN、生物多様性財団、食科学大学）代表という基準を維持することを決定しました。これは、国際的なネットワークの広がりという点でも、また、前回の大会ですでに検証された基準であるという点でも、非常に重要なことです。

さらに国際理事会は、成都で選出された Councilor（以下、評議員）を、世界大会の代表者50名にすることを決定しました。実際に彼らは地域レベルのネットワークの代表であるだけでなく、協会の再編成のために前大会から委任を受けた人々です。近年、地域どうしを繋げ、次の大会に提案される新しい構造に至るまで対話をし、貢献した人たちです。4月中旬から6月にかけてオンラインで開催される地域ごとのミーティングでは、世界的なネットワークと世界大会までの道筋を共有し、選ばれている参加者について確認する機会を設けます。

## 8. 世界大会への道筋とはどのようなものですか？

これまでのような世界大会を開催することが不可能であることを考えると、ネットワークの声、アイデア、提案を共有し、代表することを確認するために、大会への道筋に地域レベルで強く関与することが基本となります。

そのため、4月中旬から、大会に持ち込むテーマや内容を議論する会議や集会を開催します。これらの会議には、ネットワークのすべてのメンバーが招待され、すべての地域から運動のリーダーやメンバーが最も幅広く参加できるようにすることを目的としています。

2020年から2021年にかけて、オンラインで『テッラマードレ』の際、世界大会の準備のために膨大な作業が行われました。コール・トゥ・アクションを議論し、運動の将来について一緒に考えることを目的として、地域レベル、大陸レベルで数十の会議が開催されました。これらの会議の成果として、現在および将来の活動計画の基礎となる、さまざまな地域の戦略文書が作成されました。



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



## 9. テッラ・マードレと世界大会の関連は？

テッラ・マードレは、おいしい、きれい、ただしい食と食農に関する政策に特化した最大の国際的イベントです。2020-2021年版はほぼオンラインで開催された後、2022年9月22-26日にイタリアのトリノをメイン会場としたハイブリッドイベントとして開催される予定です。2020年と2021年が「レジリエンス（回復力）」の年だったとすれば、2022年版のテッラ・マードレを導く新しいテーマは「Regeneration -再生-」です。土壌や山、生態系の再生はもちろん、人間関係の再生もテーマとし、世界中の食に関わる声をトリノに集め、再出発と全体の再生の象徴となることを目指します。

テッラ・マードレと世界大会は、7月の世界大会と9月末のテッラ・マードレという、異なる時期に開催されます。しかし、この2つのイベントは共に、スローフードの歴史において重要な瞬間であり、強く結びついたイベントであることに変わりはありません。世界大会では、運動の戦略を定め、法人格を適応させます。一方、テッラ・マードレでは、できるだけ多くの代表者の出席のもと、世界大会で話し合われたテーマと組織の将来についての対話と意見交換の場が設けられます。

国際会議とテッラ・マードレは、2012年にトリノで同時開催されたことがあります。その時と同様、この二つのイベントは、一貫したビジョンを共有し、互いに補完し合い、異なるアプローチと異なる手法で同じ問題に取り組みます。スローフードがメッセージ性や幅広いネットワークを持って食の未来を共に築いていくことを示し、フードシステムに変化をもたらす世界のリーダーであることを示す機会となります。

## 10. Call to Action とは何ですか？

Call to Action（スローダウンのための緊急な呼びかけ）は、前回の成都大会の際に策定された成都宣言とそれに付随する動議、そして、1989年に署名された歴史的なマニフェスト（スローフード宣言）を含む、スローフードの歴史の中で承認された全ての文書を土台として、作成された文書です。これは、成都大会後の2019年に国際理事会が素案を作成し、2020年からはスローフードのネットワーク全体で広く共有され、300以上の提案が送られ、改善を重ねて最終的に完成したものです。

この文書は、スローフードの30年以上の歴史の中で築かれた哲学的・政治的構造を改めて確認するものであると同時に、重要な革新も含まれています。活動を体系化し、食の未来を変え、世界を救うための中長期的な目標を明確に定義することが提案されています。

Call to Action は、すべての人が、自分自身の体にとって、作っている人にとって、そして地球にも「良い」食べ物を享受できるような世界にしたいというスローフード運動の目標を確認するものです。また、3つの優先課題として、i) 生物的・文化的多様性を守ること、ii) 市民に対して教育、啓発、動員をすること、iii) 官民の政策に影響を与えること、と示しています。



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



---

## 法人格の変更について よくある質問

### 11. なぜスローフード・インターナショナルの法人格を変更する必要があるのですか？

2017年に成都で開催された前回の世界大会では、グローバルネットワークを代表する304人の代表者が、スローフードがよりオープンで包括的な運動となるような新しい組織形態を見出すことを約束しました。その際に作成された「Organizational Guidelines (以下、組織ガイドライン)」という文書の中で、以下のように記しています。「スローフードの組織を改革するプロセスは、代表者が新しい組織構造について投票する(中略)次回の世界大会で締め括られるでしょう。この改革によって私たちは、成都宣言に含まれる課題と戦略的政治目標をよりよく達成できるようになるでしょう」。

成都ですでに約束されたこの組織改革は、スローフードが本部を置くイタリアにおいて非営利セクターを取り巻く新法が施行された時期とちょうど重なり、いくつかの変更を必要とします。

### 12. なぜ”参加型財団※”なのですか？ ※原語(イタリア語) : **Fondazione di Partecipazione**

成都での「組織ガイドライン」の承認とともに、スローフードは、「会員制と地理的区切りのみでしか参加できない現行の協会モデルから脱却する」ことを約束しました。そのため、「国際レベルでも地域レベルでも、現行の法人格とは異なる法人の設立を検討する可能性」がありました。実際、スローフードの一員になる手段が会員になることに限られることは、スローフードが存在するすべての文脈において、有効な手段ではないことが証明されています。これまでの“Association (以下、協会)”方式では、会員である者だけが正式にスローフードの一員となることができますが、これでは、近年、地球の隅々にまで新しいコミュニティを作り出した何千人もの人々を考慮に入れられないこととなります。このため、スローフードとの協力体制を築きたい団体や、スローフードでありたいと思う、ありとあらゆる人・組織が、さまざまな形で、より広く参加できるような法人へと一歩前進する必要があります。スローフードは、同じアイデンティティと価値観を持ちながら、より大きな運営上の柔軟性をもって、これまでと同じように存続します。

新たに提案された法人格は「参加型財団」です。イタリアの法制度において、これは、スローフードの目的を追求する必要性に応えるために必要な特性を、他のどの団体よりもよく表している非営利団体であり、同時に、包括的で、今日、団体モデルによって完全にそうになっていない、我々のネットワークと市民社会のすべての構成要素の付着を正式に許容するものです。

### 13. 誰が、いつ、この変革を承認するのですか？

今回の変革については、「Project for the transformation of the International Slow Food Association into the Slow Food Foundation (スローフード国際組織のスローフード財団への変革プロジェクト)」と呼ばれる文書(6月に共有予定)で詳しく説明されます。この文書では、変革の理由と組織的、経済的、法的な影響について説明されています。承認プロ

---





8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



セスは、世界大会で承認された後、関連する県に提出され、スローフードのウェブサイト上で公開されます。承認されるためには、世界大会中に、参加資格のある代表者の80%以上の賛同を得なければなりません。

#### 14. スローフード財団は、イタリアの法人になるのでしょうか？

はい、現在のスローフード協会と全く同じです。この変革から生まれる新しい財団は、最近施行されたイタリアの第三セクターの新しい規制に準拠し、非営利団体となります。新法（立法令 117/2017 の 45 条）では、2021 年 11 月 23 日から「第三セクターの単一全国登録」が有効化されました。イタリアに拠点を置く非営利組織の登録簿で、スローフードが現行の法人格のまま登録され続ける場合、いずれにせよ大幅な組織的変更を行わなければなりません。したがって、この変革により、スローフード運動は、新法の規範に準拠した法人格を持つことができるようになります。

#### 15. 新しい財団の組織と運営体制はどのようになるのでしょうか？

「Slow Food Foundation for Biodiversity（生物多様性のためのスローフード基金）」は、現在のスローフード協会と非常によく似た構造を持つ「参加型財団」となります。総会、つまり世界中のスローフード会員の代表が参加する総会-現在の世界大会に当たるもの-は、引き続き 4 年に 1 回開催され、次の 4 年間、世界レベルでのスローフードのプログラムや戦略に関する提案や示唆をまとめるという任務を維持することになります。Councilors Meeting（国際評議会）は、毎年開催され、政治的・戦略的方向付けの役割を維持し、財団と地方・国レベルの様々なスローフード組織との交流のための凝集体および基準点として存続するものとします。財団の運営管理は、理事会（現在の International Executive Board = 国際理事会に相当）の責任となります。また、現在は設置されていない新しい会議体として Advisory Board（諮問委員会）が任命され、スローフードの価値と原則を体現する、権威や認知度のある個人で構成されます。

#### 16. 各地のスローフード・ネットワークには変化が生じるのでしょうか？

基本的には何も変わりません。スローフード財団は、新しい法人格を通じて、協会の活動を継続する組織となります。地域のグループ（Community と Convivia）は、これからも運動の中心であり基盤であり、すべての基礎となるかけがえのない財産であり続けます。地元の活動家たちは、これからもスローフードの創設者であり、統一された要素であり続けます。成都で採決された「[Organizational Guidelines](#)（組織指針）」に示されているように、コミュニティは“メンバーのためのイベント開催に専念する学会に似た場所ではなく、活動家の地域グループとしてますます発展していかなければならない。コミュニティは、自分たちの活動や行動の優先順位を自由に決めることができるが、世界レベルで行われる主要なキャンペーンの実現と支援にも力を入れるべき”とあります。



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17



地域や国ごとの運営団体が存在するところにも、特別な変化は生じません。過去にスローフード協会と締結した、関係、役割、責任の定義のための年次協力協定は、大会以降も新しい組織であるスローフード財団と継続されます。

#### 17. コンビビウムのメンバーやコミュニティーのメンバーは、今後も存在するのですか？

はい、ネットワークの全メンバーは、スローフード財団の構成員となります。規約第7条3項にあるように、財団の構成員は、「財団の目的を共有し、理事会が毎年定める方法、形態、手段に準拠して財団の存続と目的の実現に貢献する個人、イタリア国内外の公共または民間法人および団体、地域グループ、地域事務所」です。

#### 18. 国レベルでの運営機関が存在する場合、何が起これるのですか？

国レベルでは、各組織は、使用する法人の種類を自由に決定することができます。現行の法人格でとどまることを決めた団体については、何も変わりません：会員は、その国の団体の会員であり続けると同時に、スローフード財団の参加者となります。国レベルでの運営機関はそれぞれ、スローフード財団と協定を締結します（これまでスローフード協会と締結してきたのと同様です）。

#### 19. スローフード財団の目標は何ですか？

これまでと同様、4年に一度、国際会議によって定められた目標と、毎年、国際評議会によって定められた政治的・戦略的方向性に沿って定められた目標があります。これらの目的と運動の性質は、成都大会で培われた精神とアイデアから生まれた文書である「[コールトゥアクション～スローダウンのための緊急な呼びかけ](#)」に明確に記されています。行動指針には、この運動の使命が示されています。スローフードは、すべての人が、自分にとって良い食べ物、それを作る人にとって良い食べ物、そして地球にとって良い食べ物を手に入れられるように活動しています。i) 生物的・文化的多様性を守る、ii) 市民を教育し、鼓舞し、動員する、iii) 官民の政策に影響を与える、の3つを基本柱とする。友愛、連帯、包摂、多様性への感謝という価値観に導かれて活動する地域社会のグローバルなネットワークであることで、これを実現しています。

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

[international@slowfood.it](mailto:international@slowfood.it)

世界大会に関する全ての資料は、下記からご覧いただけます。

<https://www.slowfood.com/about-us/our-structure/international-congress/8th-slow-food-international-congress-turin-2022/>



8<sup>th</sup> Slow Food  
International Congress  
Pollenzo, Italy - 2022 July 16-17

